

2024年度 学校教育評価アンケート結果(2024年11月実施)

子どもたちがよりよい教育活動を受けることができるように、アンケートの結果から学校の教育活動の状況を見直し、改善を図ります。

1. 児童に関わる意見

(A:達成できた B:ほぼ達成できた C:あまり達成できなかった D:達成できなかった)

| | A | | B | | C | | D | | わからない | |
|---------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|------|
| | 前年度 | 今年度 | 前年度 | 今年度 | 前年度 | 今年度 | 前年度 | 今年度 | 前年度 | 今年度 |
| A1 お子様は、学校へ行くのを楽しみにしている。 | 66.8% | 65.0% | 27.3% | 27.7% | 5.5% | 5.2% | 0.4% | 1.3% | 0.0% | 0.8% |
| A2 お子様は、授業の内容を理解している。 | 51.0% | 46.7% | 42.1% | 45.4% | 5.5% | 5.5% | 0.2% | 0.5% | 1.1% | 1.8% |
| A3 お子様は、友達と仲よく協力して学校生活を送っている。 | 64.5% | 57.7% | 29.2% | 36.8% | 3.6% | 2.9% | 0.9% | 0.8% | 1.7% | 1.8% |
| A4 お子様は、運動に親しみ、心身を鍛える機会を得られている。 | 50.9% | 53.0% | 39.8% | 32.6% | 7.6% | 9.7% | 0.9% | 2.9% | 2.8% | 1.8% |
| A5 お子様は、元気のよいあいさつができています。 | 56.7% | 37.1% | 35.7% | 40.5% | 4.7% | 15.9% | 1.7% | 3.1% | 1.1% | 3.4% |
| A6 お子様は、基本的な生活習慣やルールが身に付いている。 | 39.7% | 47.8% | 42.1% | 41.8% | 13.5% | 8.1% | 1.9% | 0.8% | 2.8% | 1.6% |

評価いただいた項目

1. 学校への楽しみ(A1)、授業内容の理解(A2)、友達との協力(A3)

前年度から引き続き、A評価とB評価を合わせて9割を超える達成感を維持しました。

2. 基本的な生活習慣やルールの習得(A6)

前年度の結果から課題となっていた項目でしたが、今年度は、A評価とB評価を併せ7.8%の上昇がありました。達成率に顕著な向上が見られました。

課題

あいさつの習慣(A5)

達成率が8割に満たず、昨年よりも課題と考えているご家庭が16.1%増加しました。

今後の教育の進め方

- 児童が **あいさつの習慣(A5)** を身につけるための取組を強化する必要があります。
「虹橋校の5つの約束」を常時確認しながら、朝の挨拶活動の増強、児童自身で行う取組みの中での実施の工夫などに取り組んでいきます。また、家庭でのあいさつを習慣化したり、なぜ、どのような場面であいさつが必要になるか話し合ったりといった親子でのコミュニケーション強化なども有効な実践となりますので、ご協力をお願いします。
- 基本的な生活習慣やルールの習得(A6)** についての成果を守り続け、他の項目でも同様の成果が上がるよう、全体的なバランスの取れた教育を目指していきます。
- 学校への楽しみ(A1)** に関しても達成率を維持できるよう、引き続き授業や教育活動の内容を工夫していきます。そして、児童が成功体験を積むことで自己有用感を高め、笑顔で活力に満ちた学校生活を仲間とともに送れるよう、努めてまいります。

2. 職員に関わる意見

(A:達成できた B:ほぼ達成できた C:あまり達成できなかった D:達成できなかった)

| | A | | B | | C | | D | | わからない | |
|-------------------------------------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|-------|------|
| | 前年度 | 今年度 | 前年度 | 今年度 | 前年度 | 今年度 | 前年度 | 今年度 | 前年度 | 今年度 |
| B1 教師は、子どもにわかりやすく工夫した学習指導をしている。 | 65.1% | 58.0% | 29.8% | 33.4% | 2.1% | 3.9% | 0.9% | 0.8% | 2.1% | 3.9% |
| B2 教師は、子どもの能力や努力を適切・公平に評価している。 | 62.4% | 59.3% | 29.4% | 29.8% | 2.1% | 2.1% | 1.1% | 1.8% | 4.9% | 7.0% |
| B3 教師は、子どもの間違っただ行動について適切・公平に指導している。 | 60.5% | 56.9% | 29.6% | 30.0% | 3.6% | 3.7% | 0.9% | 1.6% | 5.3% | 7.8% |
| B4 教師は、子どもたち一人一人を大切に学級作りに取り組んでいる。 | 68.3% | 59.8% | 25.6% | 29.8% | 2.7% | 3.7% | 0.8% | 1.8% | 2.7% | 5.0% |
| B5 教師は、誠実であり、適切な言動で子どもたちと接している。 | 70.2% | 64.0% | 24.5% | 26.1% | 2.8% | 4.2% | 0.8% | 1.6% | 1.7% | 4.2% |
| B6 教師は、家庭との連絡を適切に行い、家庭との連携に努めている。 | 71.3% | 58.7% | 22.0% | 33.2% | 5.1% | 5.0% | 0.8% | 1.3% | 0.8% | 1.8% |

評価いただいた項目

わかりやすく工夫した学習指導 (B1)、誠実で適切な言動 (B5)、適切な連絡・連携 (B6)

前年度から引き続き、A 評価と B 評価を合わせて 9 割を超える達成感を維持しました。

課題

1. 全体的な評価の低下

A 評価と B 評価の合計が前年度と比較し全体的に減少しました。

(平均して前年度より約 5%程度低下)

2. 「わからない」の増加

「わからない」の数値が全体的に増加しました。(例:B2 前年度 4.9%から今年度 7.0%)

今後の教育の進め方

A 評価が減少し、D 評価が増加していることや「わからない」という回答が増加していることについて、学校の取組が認識されにくい部分があることや透明性の不足が考えられます。

これらの改善のために以下のような部分に重点をおき、「夢や希望をもって前進する子の育成」に尽力してまいります。

- ・ **教師の教育スキル向上:** 児童と適切にコミュニケーションをとるといった教育スキル向上のための研修プログラム等を導入します。
- ・ **評価プロセスの透明化:** 評価基準およびプロセスの見直しと透明化を図り、公平かつ信頼性の高い評価システムを構築します。
- ・ **コミュニケーションの強化:** 児童の様子を一方向的に伝えるのみでなく、連携を深めるための具体的なアプローチを検討します。
- ・ **フィードバックの活用:** 児童や保護者からのフィードバックを活用し、その意見を教育方法改良に反映させる仕組みを整備します。

3. 学校教育の体制に関わる意見

(A:達成できた B:ほぼ達成できた C:あまり達成できなかった D:達成できなかった)

| | A | | B | | C | | D | | わからない | |
|--|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|-------|-------|
| | 前年度 | 今年度 | 前年度 | 今年度 | 前年度 | 今年度 | 前年度 | 今年度 | 前年度 | 今年度 |
| C1 学校は、保護者に教育方針をわかりやすく伝えている。 | 49.0% | 46.0% | 43.8% | 45.7% | 3.8% | 5.2% | 0.8% | 0.5% | 2.7% | 2.6% |
| C2 学校は、いじめや暴力行為を許さない学校作りに取り組んでいる。 | 44.2% | 42.6% | 38.5% | 37.9% | 3.8% | 5.0% | 0.9% | 0.5% | 12.5% | 14.1% |
| C3 学校は、子どもの学校での様子を、配信物、ホームページなどによって適時・適切に保護者に伝えている。 | 65.5% | 59.8% | 29.8% | 31.6% | 2.3% | 5.5% | 1.1% | 1.8% | 1.3% | 1.3% |
| C4 学校は、外国語教育(英会話、中国語)など日本人学校として特色ある教育活動を工夫し、積極的に行っている。 | 54.3% | 56.4% | 32.3% | 30.5% | 9.9% | 8.9% | 2.3% | 2.1% | 1.3% | 2.1% |
| C5 学校は、児童生徒の安全に対して、適切な対策や対応、処置を行うなど、危機管理体制がしっかりしている。 | 58.8% | 47.5% | 31.5% | 40.7% | 4.7% | 7.0% | 1.1% | 2.9% | 3.8% | 1.8% |
| C6 学校は、学校設備の充実に努め、体育館、図書室など施設・設備を適切に活用している。 | 65.1% | 61.9% | 28.5% | 31.1% | 3.0% | 3.1% | 0.4% | 0.3% | 3.0% | 3.7% |
| C7 学校は、学校・学年行事の適切な計画実践に努めている。 | 69.3% | 61.9% | 26.9% | 32.1% | 1.9% | 3.9% | 0.9% | 0.5% | 0.9% | 1.6% |

評価いただいた項目

教育方針の明確な伝達(C1)、子どもの様子を配信(C3)、設備の適切な活用(C6)

行事の適切な計画実施(C7)

前年度から引き続き、A 評価と B 評価を併せ 9 割を超える達成感を維持しました。

課題

いじめや暴力行為を許さない学校作り(C2)

A 評価と B 評価の合計が 80.5%に低下し、「わからない」という回答が 12.5%から 14.1%に増加しました。

今後の教育の進め方

いじめや暴力行為の防止

- **アンチバリングキャンペーン:** 年に数回のキャンペーンを実施する等、児童や保護者に向けていじめの防止に関するメッセージを強く発信する取組を考えていきます。
- **いじめ防止プログラム:** 教員研修を定期的 to開催し、対策の強化や意識の向上を図ります。

学校教育の質と安全性が向上し、保護者の安心感や信頼が増すことを目指します。他にも具体的な案や提案がございましたら、ぜひお知らせください。